

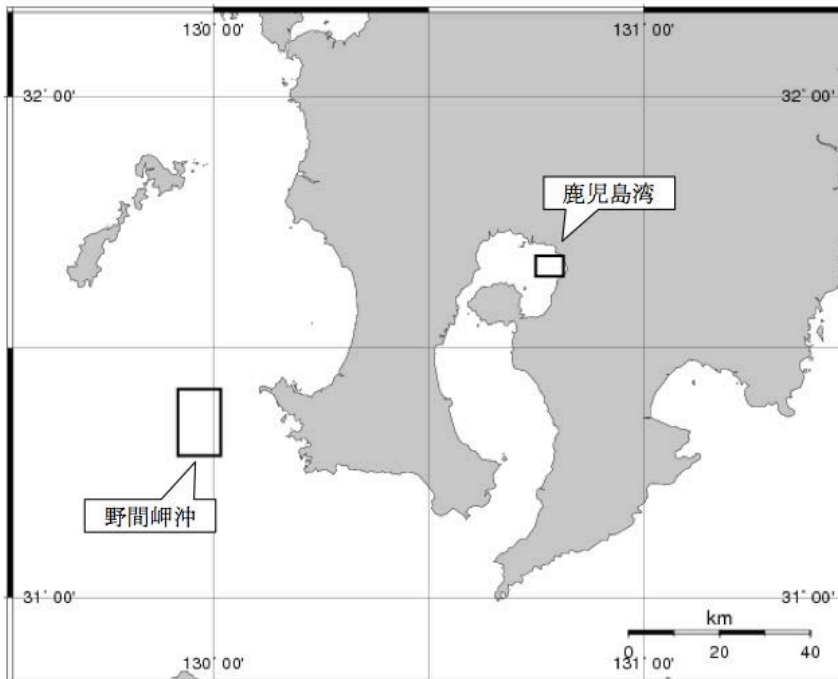
提出日：2012年 4月 20日

クルーズサマリー

- ：必ず記載してください
- ：必要に応じて記載してください

1. 航海情報

- 航海番号: NT12-09
- 船舶名: なつしま
- 航海名称 平成24年度 研究利用公募 「ハイパードルフィン3000」調査潜航. 鹿児島湾、野間岬沖
- 首席研究者 [所属機関名]: 宮本 教生 [JAMSTEC]
- 課題代表研究者 [所属機関]: 宮本 教生 [JAMSTEC]
- 研究課題名: ハオリムシ類, ホネクイハナムシ類の進化発生学的研究
- 航海期間: 平成24年4月11(水)～平成24年4月16日(月)
- 出港地～寄港地～帰港地の情報: 鹿児島～由良
- 調査海域名: 鹿児島湾, 野間岬沖
- 調査マップ



2. 実施内容

● 調査概要

目的

本研究の目的は、得意な形態学・生態学的特徴を持つ、ハオリムシ類とホネクイハナムシ類の進化過程を明らかとすることである。本調査航海の目的は、上記の研究に用いるためにサツマハオリムシ *Lamellibrachia satsuma* とホネクイハナムシ *Osedax japonicus* を採集することである。

2005年と2008年に鹿児島湾に、2002年に野間岬沖に沈設した鯨骨などを回収することによりサツマハオリムシとホネクイハナムシを採集する。採集した生物は、研究室に持ち帰り、飼育を行わない、形態学・分子発生学・細胞学的な研究を行う。そのような研究を通してハオリムシ類とホネクイハナムシ類の形態形成や細胞学的な特徴を明らかとする。その結果を他の多毛類と比較することによって、ハオリムシ類とホネクイハナムシ類の進化史を明らかとする。

また、ハオリムシ類とホネクイハナムシ類は体内に共生細菌をもっており、その共生細菌が発生や成長、代謝に重要な役割を演じていると考えられている。本研究では、未だ明らかとなっていない、バクテリオサイトの分化や宿主細胞と共生細菌の相互作用の分子実体に関する研究も行う。

潜航結果

HPD#1367

潜航日：2012年4月12日

潜航地点：鹿児島湾

着底：31°39.719'N, 130°48.069'E, 8:28, 105m

離底：31°39.752'N, 130°48.055'E, 10:37, 102m

目的：鯨骨の設置回収。サツマハオリムシの採集。その他生物や堆積物の採集

HPD#1368

潜航日：2012年4月12日

潜航地点：鹿児島湾

着底：31°39.738'N, 130°48.053'E, 12:50, 102m

離底：31°39.751'N, 130°48.055'E, 14:38, 101m

目的：サツマハオリムシ、その他生物、堆積物の採集

HPD#1369

潜航日：2012年4月13日

潜航地点：野間岬沖

着底：31°20.993'N, 129°59.131'E, 8:47, 225m

離底：31°20.998'N, 129°59.156'E, 13:14, 226m

目的：鯨骨の設置回収、その他生物、堆積物、海水の採集

HPD#1370

潜航日：2012年4月13日

潜航地点：野間岬沖

着底：31°18.515'N, 129°59.372'E, 15:42, 249m

離底：31°18.514'N, 129°59.377'E, 16:25, 251m

目的：鯨骨の観察、生物、堆積物、海水の採集

HPD#1371

潜航日：2012年4月14日

潜航地点：鹿児島湾

着底：31°39.728'N, 130°48.057'E, 14:11, 102 m

離底：31°39.745'N, 130°48.056'E, 15:06, 102 m

目的：鯨骨の設置、サツマハオリムシの採集、堆積物、海水の採水